

ぽっかぽか

きりん



残暑も過ぎ、毎朝のお集りでの最高気温の確認で子供たちが喜びの声をあげる日が続いております。季節の変わり目となりますので皆様もお体に気を付けてお過ごしください。

今回は体を動かす機会が増えつつ、運動会に向けて練習の日々となっている『体育』についてお話していこうと思います。

～体育とは～

まず、幼児期の体育には①健康を守り、より強い体を作る。②身体の発達を促す。③言葉の理解、思考力の発達。④認識力を高める。⑤体を動かすことを楽しいと感じる。という5つのねらいがあります。一見、体の動かし方のみに注目されがちですが、指示の理解や動きの模倣など思考力も発達していくのが体育の良いところです。

今月行われる運動会において、今年度のきりん組には『年中体操』という種目が組み込まれています。全身を使って様々な動きを表現してくれますのでぜひ楽しみにしててください！その体操では動きの模倣が主となりますので言葉の理解や認識力が大切になっていきます。また、鬼ごっこなどのルールがある遊びとは異なり単調な動きになっており、子ども達は楽しいのか？というねらいに対する疑問が生まれます。しかし、「大人と同じ動きができた！」「今までできなかったけど成功した！」という成功体験に対する楽しさや褒められることによる嬉しさ、意欲促進が期待されます。

子ども達と運動するに当たって一番大事になってくるのが『精神的な面からのフォロー』となっています。「やればできる」という運動有能感がその後の自己肯定感に繋がっていきます。そのためにも“褒める”という行為はとても大切なこととなります。「失敗しても大丈夫」という声掛けは勿論のこと、小さな階段を上るように、短い間隔でのステップアップ+褒めがすごく効果的なのでご家庭でもぜひ試してみてください。

遊び紹介～石木氷鬼～

現在きりん組で行なっている子供たちに人気の遊びを紹介します！その名も“石木氷鬼”です！「氷鬼は知ってるけど石木氷鬼って何？」と思われるかもしれませんが氷鬼が分かればルールはとても簡単です。

鬼はタッチするときに「石！」「木！」「氷！」と言います。すると捕まった方は言われた言葉に合わせて石や木、氷の真似をします。そして氷鬼といえ解除ができますが、それぞれ解除方法が違い、石には足で跨ぎ、木には足元をくぐり、氷にはタッチで溶かしてあげます。

以上がルールとなり、鬼視点は声を出しながら捕まえること、三つの中から選ぶことが思考力となり、逃げる方は何と言われたか、どの固まり方か、助ける方法はどれかと認識力が大事になってきます！

複雑なルールですが子どもたちは一度行っただけですぐに覚えお気に入りの遊びとなっています！